

第1回 調布市地域経済対策会議要旨について

開催日：令和2年6月11日 午後5時から7時

場 所：市長公室

出席者：商工会（副会長・各部会・事務局長）、市内金融機関（多摩信用金庫）
市（副市長、行政経営部長、産業振興担当部長）

1. 現状報告

【商工会工業部会】

- ・コロナによる影響は他部会に比較して少ない。
- ・コロナに関係なく市内の事業者数が減少しており活性化が必要。

【商工会建設業部会】

- ・コロナの影響もあり、バリアフリーに対する補助金を活用した工事は発注がなく、予算の執行に影響が出ることを心配している。
- ・新たなテレワーク推進やそれに伴うリフォーム補助金などの検討も必要。

【商工会サービス業部会】

- ・コロナの影響を大きく受けている。
- ・昨年度比の売上が50%減に満たないことで、国の持続化給付金の対象にならない店舗もあり、融資制度で繋いでいる。給付金等の検討も必要。

【商工会商業部会】

- ・飲食店の中でも、従業員雇用の店舗は人件費等で厳しい状況もある。
- ・スーパー等の小売店で業績が良いところもある。
- ・消費者(市民)にお金を使ってもらい、経済を動かすような取組の検討が必要。

【商工会事務局】

- ・5月の経営相談は180件。
- ・相談で一番多いのは、サービス業、次に飲食業、小売業となっている。
- ・マル経融資は92件の相談を受けている。(3月～5月)

【市内金融機関】

- ・事業運転資金などの相談が大変多い。
- ・調布市の拡充した融資あっせん制度利用も多数ある。
- ・給付金や補助金への相談もある。

【調布市】

- ・現状における国、東京都、市の支援策について報告。
- ・準備会（市・商工会事務局）で検討した経済対策・支援策について説明。

2. 今後の方針・支援策について

【調布市商工会】

- ・商工まつりをはじめ事業の中止等あるなかで、当初予算の事業費をコロナ対策への充当など柔軟な対応をお願いしたい。
- ・プレミアム付商品券事業について、スクラッチカード事業も規模を拡大して実施するようなことを考えてほしい。

- ・プレミアム付商品券事業は、地域の小売店にお金が落ちるスキームの検討を要望。大型店使用可能分・個人店使用可能分など、券を2種類に分け、個人店へも使用がまわる仕組み等を希望。また、スクラッチカード事業との連携した実施を要望。
- ・売り上げが減少しているものの持続化給付金の要件を満たさないため、給付を受けられず経営に影響を受けている事業者も多い。給付金等の検討も必要。
- ・様々な支援策の中で、プレミアム付商品券事業、スクラッチカード事業、給付金事業に絞った取組が必要。
- ・商工会のアンケート調査の中には、給付金の声もある。

【市内金融機関】

- ・自治体の支援策は、それぞれの自治体の考えがあり、未実施の自治体もある。
- ・商品券事業は、多摩地域の中で10自治体程度（予定含）把握しているが、調布市の予算規模はかなり大きく、経済効果に期待する。

3. 協議結果

〈優先して実施する事業〉

- 新型コロナウイルス感染症予防対策に対する助成事業の創設
優先的に進める。
- プレミアム付商品券事業の実施
スクラッチカード事業との両輪の取組による相乗効果
「地域のお店にお金が落ちるスキームを」等の意見を踏まえ、実施に向けて進める。
- スクラッチカード事業の拡充・実施
予算規模を拡大し、プレミアム付商品券事業と連携した両輪による実施。
- 調布街バル事業の拡充
当初予算の中で調整・拡大して進めていく。
- ものづくり製品化補助事業の拡充
当初予算の中で調整・拡大して進めていく。

〈感染状況を確認しながら継続して検討する事業〉

- 事業者への給付金事業
- 市内商店会等が構築する新たなデリバリーサービス
(青果店、精肉店、米店、酒飯店、飲食など)
- 市内商店会が取り組むキャッシュレス決済導入助成事業
- イオンシネマ シアタス調布での映画鑑賞補助事業
(平成29年度に実施した「シネマでお出かけサポート事業」と同様のスキーム)

〈今後の生活環境の変化等状況に応じて協議する事業〉

- 地域共生推進ふれあい商店等補助事業（バリアフリー補助金）の拡充
- テレワーク推進・住宅リフォーム補助金